

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースはあるが、人数が多い時はグループ分けをし、安全に
	2 職員配置数は適切であるか	○			配置数は適切で、その他一人以上配置しており、利用者によっては少なく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			特にテラスにはクッションの効いたもので、転んでも大丈夫です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			会議を開いてその度確認している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年一回アンケートをとり、話し合いをして取り組んでいる。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後の課題です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			全員が研修を受けるように配慮している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談などをして、又、2ヶ月に一度懇談会を開いている。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		個別指導で行って支援計画をそろえている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			広い視点より、支援計画をそろえている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画を検討、共有し支援にあたっている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児発管を中心に日々話し合いをして、プログラムの計画、反省をして記録し、次に役に立てるようにしています。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○				

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々ミーティングをして支援、確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			記録を取りながら行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回計画の見直しを行う。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			保健センター、行政とのケース会議をもっている（年3～4回）医療機関と連携し、会議などにも参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			担当者が出むいて経過報告などを行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			自立支援協議会への参加や、他市の行う研修にも参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			交流保育を実施したり、行事に参加したりしている。七夕まつり、豆まき等
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			担当者を決めて参加している。結城市こども部会
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			全職員が受け、又、受けるように配慮している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			職員の研修の中に入れており、全員修了している。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入園児に契約と同時にしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			契約の時に丁寧に話をし、納得をもらうようにしています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者に対しては個別面談をしている。一学期に一回又は随時に行う。研修など、1年に2～3回行っている。遠足、祭りなど。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			給食だよりや園のおよりなどを発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			カメラやビデオ撮影に関しては入園時に話しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			研修会をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			お祭や作品展など行事をお知らせしている。
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			その都度、情報を公開したり、掲載したりしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月一回計画して実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			年2回内科健診などを行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			給食を提供しているので、情報を受けている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			記録をとっている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会に参加し、職員間で報告会をする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約時に説明し納得して印を押してもらう。